

### 第3章 医療施設調査・病院報告

#### 1 施設数

平成27年10月1日現在の病院数は51施設（精神科病院8施設、一般病院43施設）で、前年に比べ1施設減少した。一般診療所は723施設で、前年と変わりなかった。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が2施設減少し、無床が2施設増加した。歯科診療所は271施設で、前年に比べ3施設減少した（表3-1）。

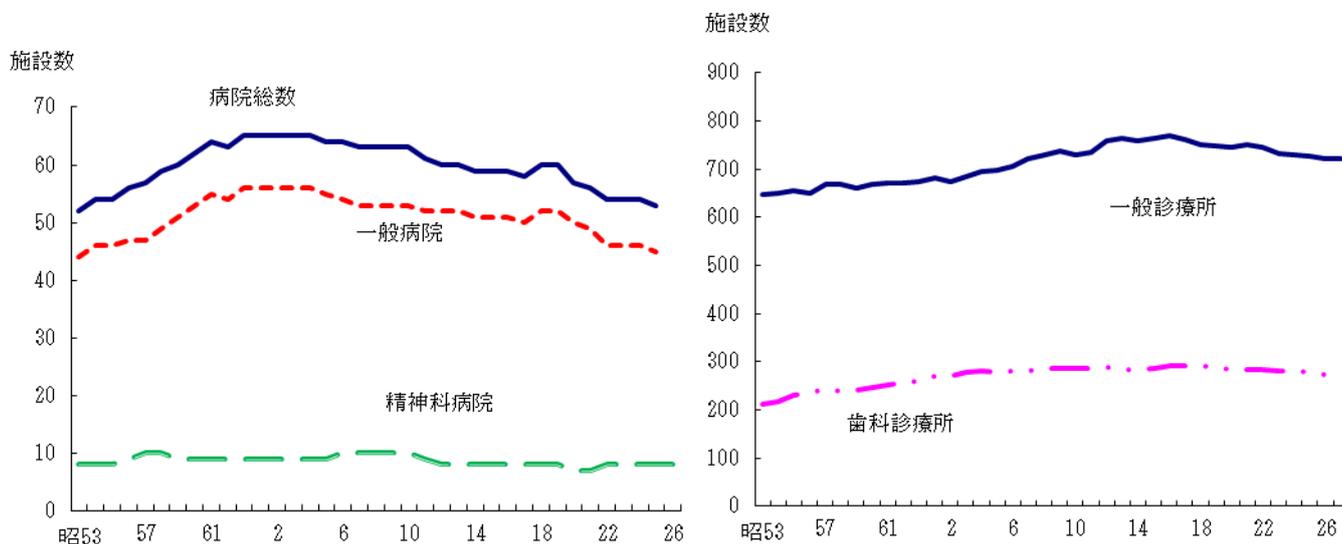
表3-1 医療施設の種類別にみた施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	平成27年	平成26年	増減数	平成27年	平成26年
総数	1,045	1,049	△ 4	100.0	100.0
病院	51	52	△ 1	4.9 (100.0)	5.0 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(15.7)	(15.4)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	43	44	△ 1	(84.3)	(84.6)
一般診療所	723	723	-	69.2 (100.0)	68.9 (100.0)
有床	46	48	△ 2	(6.4)	(6.6)
無床	677	675	2	(93.6)	(93.4)
歯科診療所	271	274	△ 3	25.9	26.1

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

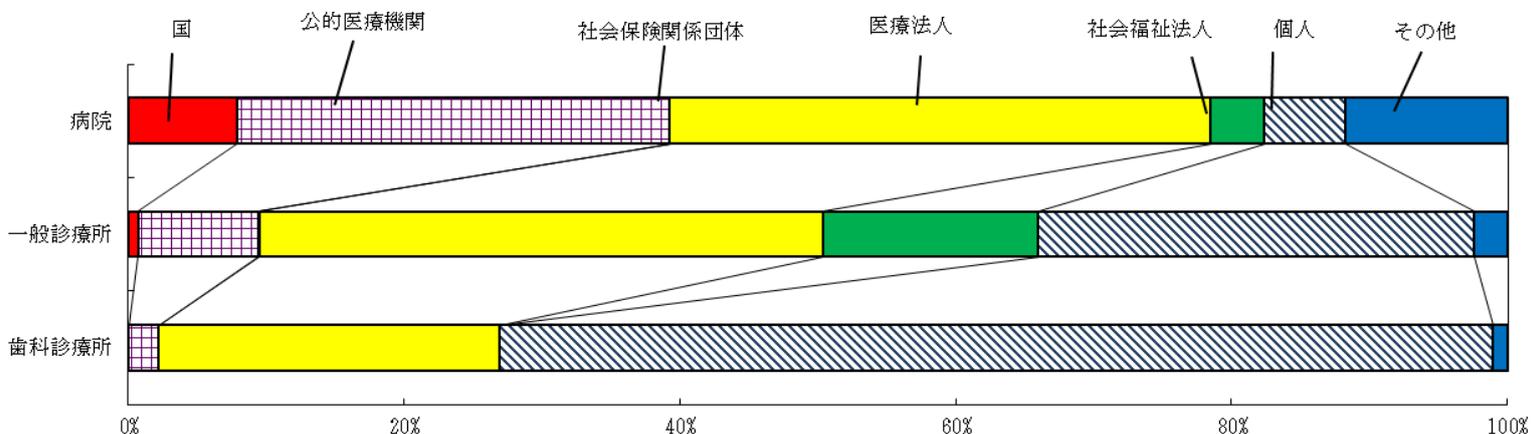
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の39.2%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の31.4%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成27年の状況は、医療法人が40.8%、個人が31.5%である。歯科診療所は大部分が個人で、72.0%を占めており、ついで医療法人が24.7%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合（%）



人口10万対施設数を前年と比べると、歯科診療所は0.3減少し、一般診療所は0.4増加した。全国と比べると、病院は0.6、一般診療所は24.6高く、歯科診療所は15.1低くなっている（表3-2）。

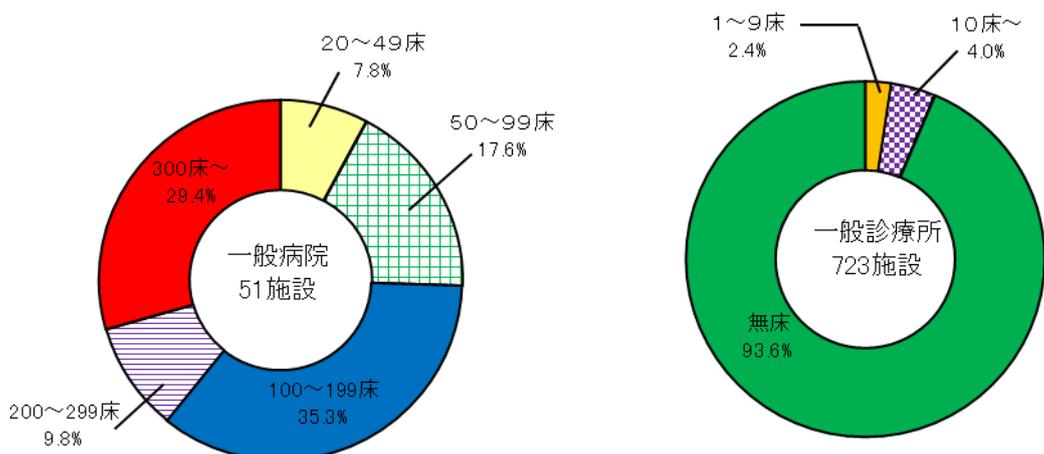
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	平成27年	平成26年	平成27年
病院	7.3	7.5	6.7
一般診療所	104.1	103.7	79.5
歯科診療所	39.0	39.3	54.1

一般病院を病床規模別にみると、20～49床が7.8%、50～99床が17.6%、100～199床が35.3%、200～299床が9.8%、300床以上が29.4%であった。

一般診療所は1～9床が2.4%、10床以上が4.0%、残りの93.6%は無床である（図3-3）

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



## 2 病床数

平成 27 年 10 月 1 日現在の病院の病床数は前年に比べ 228 床減少した。病床の種別にみると、精神病床は前年と変わらず、一般病床が 18 床、療養病床が 197 床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から 7 床減少した（表 3-3）。

表 3-3 医療施設の種別による病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成27年	平成26年	増減数	平成27年	平成26年
総 数	11,313	11,548	△ 235	100	100
病 院	10,775	11,003	△ 228	95.2 (100.0)	95.3 (100.0)
精神病床	2,324	2,324	-	(21.6)	(21.1)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	20	33	△ 13	(0.2)	(0.3)
療養病床	2,077	2,274	△ 197	(19.3)	(20.7)
一般病床	6,324	6,342	△ 18	(58.7)	(57.6)
一般診療所	538	545	△ 7	4.8	4.7
歯科診療所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口 10 万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が 1.3、一般病床が 0.9 増加し、療養病床が 27.2 減少した。

また、一般診療所は前年より 0.7 減少した。

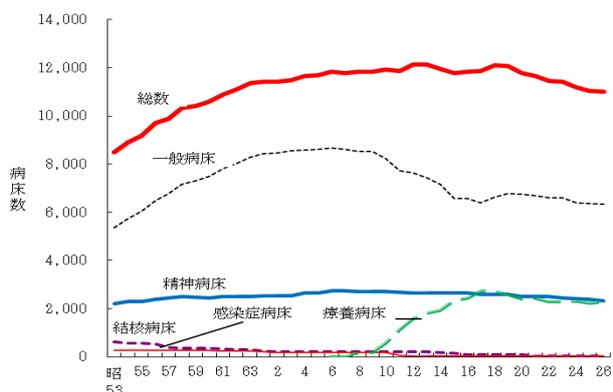
病院における人口 10 万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表 3-4）。

表 3-4 人口 10 万対病床数

	島根県		全国
	平成27年	平成26年	平成27年
病 院	1,551.8	1,578.6	1,232.1
精神病床	334.7	333.4	264.6
感染症病床	4.3	4.3	1.4
結核病床	2.9	4.7	4.3
療養病床	299.1	326.3	258.4
一般病床	910.8	909.9	703.4
一般診療所	77.5	78.2	84.7

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している（図 3-4）。

図 3-4 病床の種別による病院の病床数



注:1)「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床(療養型病床群)をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群をのぞく)」である。

注:2)「療養病床」は、平成 12 年までは「療養型病床群」であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

### 3 診療科目

県内 51 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 48 施設で、ついで整形外科が 35 施設、外科が 33 施設となっている。平成 26 年と比べると病理診断科等 3 診療科目が増加し、消化器内科等 4 診療科目が減少した。

一般診療所 723 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 557 施設であり、ついで小児科が 166 施設、消化器内科（胃腸内科）が 131 施設、循環器内科が 92 施設となっている。平成 26 年と比べると、内科等 4 診療科目が増加し、循環器内科等 9 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成27年	平成26年	増減数	平成27年	平成26年	増減数
内科	48	48	-	557	555	2
呼吸器内科	16	16	-	38	39	△ 1
循環器内科	24	24	-	92	93	△ 1
消化器内科 (胃腸内科)	20	21	△ 1	131	131	-
腎臓内科	7	6	1	2	2	-
神経内科	31	32	△ 1	28	28	-
糖尿病内科 (代謝内科)	5	5	-	11	11	-
血液内科	3	3	-	-	-	・
皮膚科	22	22	-	52	51	1
アレルギー科	2	2	-	32	34	△ 2
リウマチ科	3	3	-	19	19	-
感染症内科	-	-	・	-	-	・
小児科	26	26	-	166	168	△ 2
精神科	24	22	2	50	50	-
心療内科	6	6	-	30	30	-
外科	33	33	-	64	65	△ 1
呼吸器外科	8	8	-	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	-	-	・
乳腺外科	3	3	-	2	2	-
気管食道外科	-	-	・	-	-	・
消化器外科 (胃腸外科)	2	2	-	3	3	-
泌尿器科	21	21	-	21	22	△ 1
肛門外科	4	4	-	16	16	-
脳神経外科	14	14	-	10	10	-
整形外科	35	36	△ 1	59	57	2
形成外科	7	7	-	7	7	-
美容外科	-	-	・	3	3	-
眼科	21	21	-	49	49	-
耳鼻いんこう科	22	22	-	28	28	-
小児外科	3	3	-	2	2	-
産婦人科	16	16	-	17	18	△ 1
産科	1	1	-	2	2	-
婦人科	5	5	-	14	14	-
リハビリテーション科	30	30	-	52	54	△ 2
放射線科	20	22	△ 2	21	21	-
麻酔科	21	21	-	11	12	△ 1
病理診断科	7	6	1	-	-	・
臨床検査科	1	1	-	-	-	・
救急科	1	1	-	-	-	・
歯科	6	6	-	7	6	1
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	・

#### 4 利用状況

平成27年の1日平均在院患者数は8,653人であり、前年から223人減少した。うち、精神科病院は22人、一般病院は201人減少した。1日平均新入院患者数は289人で、前年から4人減少した。1日平均退院患者数は289人で、前年から3人増加した。1日平均外来患者数は7,352人で、前年から11人増加した（表3-6）。

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	平成27年	平成26年	増減数	平成27年	平成26年	増減数
病院総数	8,653	8,876	△223	289	285	4
精神科病院	1,537	1,559	△22	5	5	-
一般病院	7,116	7,317	△201	285	281	4
病床総数	8,653	8,876	△223	289	285	4
精神病床	1,997	2,031	△34	8	8	-
感染症病床	-	-	-	-	-	-
結核病床	7	5	2	-	-	-
療養病床	1,836	1,961	△125	10	10	-
一般病床	4,812	4,879	△67	272	268	4

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	平成27年	平成26年	増減数	平成27年	平成26年	増減数
病院総数	289	286	3	7,352	7,341	11
精神科病院	5	5	-	386	385	1
一般病院	284	281	3	6,966	6,955	11
病床総数	289	286	3	・	・	・
精神病床	8	8	-	・	・	・
感染症病床	-	-	-	・	・	・
結核病床	-	-	-	・	・	・
療養病床	12	12	-	・	・	・
一般病床	269	265	4	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成27年の病院の病床利用率は、総数が79.9%、精神病床が85.9%、療養病床が86.4%、一般病床が76.1%、結核病床が35.8%、感染症病床が0.0%であった。（図3-5）。

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

